学　習　の　指　針（シラバス）

教科名	国　語	実施学年	1　年	週時数	4時間

1　学習の目標等

学習の目標	（1）社会生活に必要な知識や技能を身につけ、国語を構成する言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 （2）身の回りの物事について筋道立てて考える力や、豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものすることができるようにする。 （3）言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書し、言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度をもつ。
使用教科書 副教材等	伝え合う言葉１（教育出版）、よくわかる国語の学習１（明治図書）、国語辞典（各自準備）、つまずかない文法の学習（新学社）、単元別漢字（秀学社）、最新国語資料集（明治図書）、書写道具（各自準備）

2　学習計画及び評価方法等

○評価欄には「知識・技能」及び「思考・判断・表現」についてのみ記載します。記号については以下の通りとします。「主体的に学習に取り組む態度」についての評価材料は『３．評価について』に記します。

(a)：授業内の活動　(b)：小テスト・提出物　(c)：定期テスト

学期	月	学習内容	学習のねらい	評価	備　考
第1学期	4	ふしぎ	・心情を表す言葉を味わい、語彙を豊かにする。	(a) (b) (c)	年間を通じて漢字テストを実施します。 聞き取りテストについては、定期テストとは別に学期に 1～2 回程度、実施します。
		お気に入りの一品を紹介する	・伝えることの根拠を明確になるよう話の構成を考える。	(a)	
		桜蝶	・描写をもとに登場人物の相互関係や心情の変化に着目して、作品を読み深める。 ・物語と小説を比較して読み、違いについて感想を持つ。	(a) (b) (c)	
	5	言葉の単位	・文章・段落・文節・単語のはたらきや特徴について理解する。	(b) (c)	
		自分の脳を知っていますか	・文章の中心部分と付加部分を捉え、内容を理解している。 ・文章の構成を捉え、必要な情報を要旨としてまとめることができる	(a) (b) (c)	
		根拠をもとに意見文を書く	・資料を分析、比較して、必要な資料の活用について考え、文章を書く。 ・考えの中心を明確にし、構成を工夫する。	(b)	
	6	日本語の音声	・日本語の音声の働きやしくみについて理解する。	(a) (b) (c)	

		内容を整理して説明する	・聞き手がわかりやすいように、話す内容を整理して表現する。	(a)	
		ベンチ	・作品の表す状況を捉えて、課題を持つ。 ・必要な情報を集め、自分の考えをまとめる。	(a) (b) (c)	
		全ては編集されている	・写真の特徴を生かし、組み合わせ短い物語を書く。	(a)	
	7	画数と活字の字体	・画数をもとに漢和辞典の引き方の練習をする。	(a) (c)	
		材料を整理して案内文を書く	・収集した情報を整理し、目的や意図を意識した案内文を書く。	(a)	夏休みに作文の課題有。
第2学期	9	持続可能な未来を創るために――一人の暮らし方を考える／「エシカル」に生きよう	・文章を読み、「持続可能な社会」の実現に向けた課題を共有し、自分の考えをもつ。	(a) (b) (c)	
		森には魔法つかいがいる	・筆者の考えや述べ方に着目し、根拠を明確にしながら自分の意見を書く。	(a) (b) (c)	
		文の成分	・文の成分の役割について理解する。	(a) (c)	
		根拠を明確にして意見文を書く	・根拠をはっきりさせて意見文を書く。	(b) (c)	
	10	広告の情報を考える	・広告の特徴を理解し、目的にあった広告を作る。	(a) (b)	
		昔話と古典	・古人のものの見方や考え方に触れ、それに対する自分の考えを持つ。	(a) (b) (c)	
		物語の始まり			
		故事成語	・音読したり暗唱したりして漢文の表現に慣れる。	(a) (c)	
		蜘蛛の糸	・近代文学に触れ、日々の読書に活かす。	(a)	
	11	河童と蛙	・オノマトペの効果を考え、朗読に生かす。	(a) (b) (c)	
		オツベルと象	・場面展開を捉えながら、人物象を理解する。 ・物語の展開や表現の工夫などについて、自分の考えを深める。	(a) (b) (c)	
		随筆を書く	・身近な体験を叙述の仕方を工夫しながら、随筆として書く。	(a) (b)	
	12	日本語の文字	・日本語の文字の特徴を理解する。	(a) (b) (c)	毛筆の授業を数回行います。 冬休みに書初めの課題有。
		子どもの権利	・論理の構成や展開に着目して筆者の主張を捉える。	(a)	
		調べた内容を聞く	・話し手の考えと自分の考えを比較したり、質問したりしながら自分の考えをまとめる。	(a)	
	1	言葉がつなぐ世界遺産	・問いと答え、事実と意見の関係を理解し、筆者の考えを捉える。	(a) (b) (c)	
		読み手を意識して報告文を整える	・読み手を意識して推敲を行う。	(b) (c)	

第3学期		単語のいろいろ	・単語の分類の基準について理解する。	(a) (b) (c)	
	2	発言を結び付けて話し合う	・意見の整理を行い、感想や考えをまとめる。	(a) (b)	
		漫画で「物語」を表現する	・漫画の表現の特徴を理解し、言葉との関係を捉え、読み手に対する効果について考える。	(a) (b)	
		四季の詩	・詩の題材を捉え、イメージを想像する。	(a) (b) (c)	
	3	少年の日の思い出	・登場人物や語り手のものの見方や考え方について理解する。 ・登場人物や語り手、情景描写の描かれ方について、意見を交流させながら、自分の考えを深める。	(a) (b) (c)	
		方言と共通語	・言葉の特徴について理解する。	(a)	
		漢字の広場１～４	・漢字についての様々な学習をとおし、言語について理解を深める。	(a)	

３　評価について

評価の観点及び内容・評価材料

観点	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれる情報の扱い方、国語を構成する言語文化についての知識や技能の獲得状況を、各種テストや授業中の活動(作文、スピーチなど)、書写などから判断する。	○定期テスト ○聞き取りテスト ○書写(硬筆・毛筆) ☆ノート、プリント ☆単元テスト　☆小テスト ☆授業中の活動
思考・判断・表現	「話す・聞く」「書く」「読む」活動において、獲得した知識や技能を活用して課題を解決しようと、思考・判断・表現しているかどうかを、各種テストや授業中の活動(スピーチ、話し合い活動など)などから判断する。	○定期テスト ☆ノート、プリント ☆単元テスト ☆授業中の活動 ☆振り返りカード
主体的に学習に取り組む態度	国語の学習活動において、自らの学習に見通しを立て、積極的かつ粘り強く取り組もうとしているかどうかを、授業中の活動や態度、各種提出物(ノートやワーク、ワークシートなど)などから判断する。	○提出物(ノート、ワーク等) ☆学習態度 ☆授業中の活動全般 ☆振り返りカード

☆印の項目は、授業に欠席した場合、評価に含めることができない場合があります。